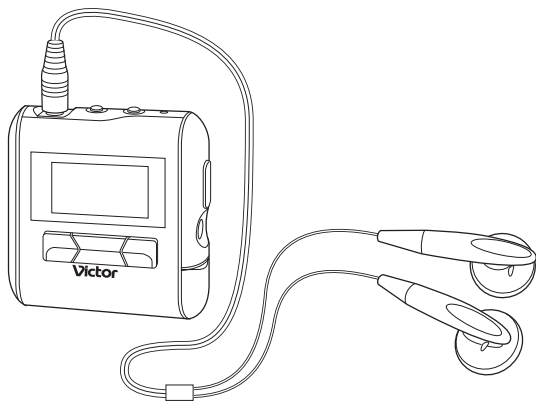
デジタルオーディオプレーヤー

XA-MP51-S/-B/-R/-W XA-MP101-A/-S

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「**安全上のご注意**」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1431-001C [DOM]

安全上のご注意 －はじめにお読みください－

絵表示について

この取扱説明書と製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。

- 表示の注意文を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を次のように区分し、説明しています。よくお読みのうえ正しくお使いください。

危険	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示しています。
警告	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示の注意文を守らないと、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の内容

注意をうながす記号

一般的注意

行為を指示する記号

一般的指示

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

本体について

⚠ 警告

■ 自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない

・ 運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
・ また、歩きながら（特に踏切や横断歩道など）使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 分解・改造しない

分解禁止

・ 内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
・ 点検や修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

■ 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
・ はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

■ 水をかけたりぬらしたりしない

・ 機器を水がかかる場所（風呂場や台所など）で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となります。

乾電池について

⚠ 警告

■ **乾電池は正しく取り扱う**

- ⊕と⊖(プラス マイナス)は、機器の表示のとおり正しく入れる。
- 充電しない。
- 加熱や分解をしない。
- 火の中に入れない。
- 長時間使用しないときは、本体から取り出しておく。
- ⊕と⊖(プラス マイナス)との端子をショートさせない。また金属性のネックレスやコインなどと一緒に携帯しない。

● 取り扱いを誤ると、電池の液もれによりけがや周囲を汚す原因となります。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

■ **本体の置き場所について**

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。

- 窓を閉めきった自動車の中（とくに夏期）
- 風呂場など湿気の多いところ
- ホコリの多いところ
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ **航空機の中では電源を入れないでください**

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。機内では必ず電源を切っておいてください。

■ **電池を交換するときは、必ず電源を「切」にしておいてください**

電源「入」のまま交換すると、故障の原因になることがあります。

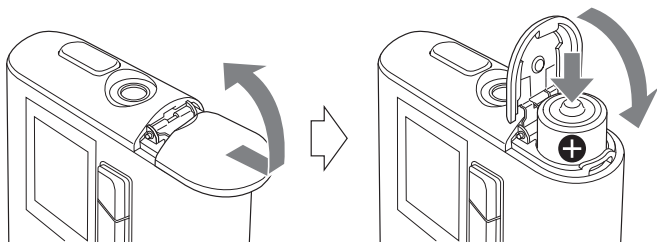
■ **落としたり強い衝撃を加えないでください**

破損や故障の原因になることがあります。

目次

はじめに

電池の入れ方

電池カバーを開け、アルカリ電池（付属）を入れます。本体裏側に表示された極性 (+および-) に合わせて正しく挿入し、電池カバーを閉めます。

バッテリーインジケーター

バッテリーインジケーターは電池の残量を示します。残量が少なくなると「バッテリーがありません」と表示されます。新しい電池と交換してください。

バッテリーがありません

バッテリー取り扱い上の注意

・長時間本機を使用しない場合は、電池の液もれや破損防止のため必ず電池を取り外しておいてください。

・電池を廃棄する場合は、地域の規定に従って正しく廃棄してください。

・電池が液もれしている場合は、ただちに廃棄してください。皮膚のやけどや身体障害の原因となります。

・本機には、アルカリ乾電池を使用してください。マンガン電池や充電池を使用すると、電池寿命が極端に短くなったり、誤動作を起こす場合があります。

USB ドライバのインストール（WINDOWS 98SE 専用）

次の手順に従って、本機を認識させるためのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

> ゲームソフトやウイルス対策ソフトなどのプログラムが稼働している場合は、終了させてください。

1. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。

2. 本機の電源をオフにし、USB ケーブルを使って本機をパソコンに接続します。

3. 画面に現れるドライバインストール手順に従って操作します。「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が開きますので、［次へ >］ボタンをクリックします。

4.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、［次へ >］ボタンをクリックします。

5. [検索場所の指定] にチェックを入れ、[参照] ボタンをクリックし、ドライバの収録されているCD-ROM ドライブからXA-MP51-101フォルダを選び (D ドライブの場合:D:¥XA-MP51-101 と表示されます)、[次へ >] ボタンをクリックします。

6. インストール完了メッセージが表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

7. パソコンを再起動します。

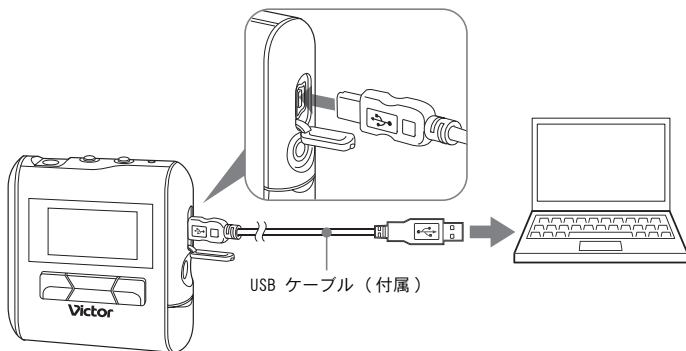
パソコンに接続する

USB ポートを介して、MP3 および WMA 形式のミュージックファイルをパソコンから本機に転送できます。USB2.0 (480Mbps 非対応)

> Windows 98SE ご使用の場合：
> 初めてパソコンに本機を接続する場合は、最初に付属の CD-ROM から USB ドライバをパソコンに必ずインストールしてください。インストール手順については (6 ページ) を参照してください。

本機をパソコンに接続する

1. USB 端子のゴムキャップを取り外します。

2. USB ケーブルを本機とパソコンの USB ポート間に接続します。

パソコンから本機へのミュージックファイル転送

1. マイコンピュータまたはエクスプローラから本機のフォルダ（リムーバブルディスクまたはデバイス）を開きます。

2. ミュージックファイルをパソコンから本機のフォルダにコピーアンドペースト、またはドラッグアンドドロップします。
ファイルコピー中は「WRITING」が表示され、転送が終了すると「READY」が表示され続けた状態になります。

お知らせ

・WMA-DRM ファイルはドラッグアンドドロップで転送すると表示はされますが再生することはできません。
Windows Media Player 9 以上を使って転送して下さい。

本機をパソコンから取り外す

Windows 2000/Me/XP ユーザー向け：
タスクバーの アイコンを左クリックし、画面の指示に従って USB ポートから取り外します。

Windows 98SE ユーザー向け：
［ マイコンピュータ ］を開き、［ リムーバブルディスク ］を選択してから、右クリックで［ 取り出し ］を選択します。

・Microsoft、Windows、および Windows Media は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
・本取扱説明書に記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。

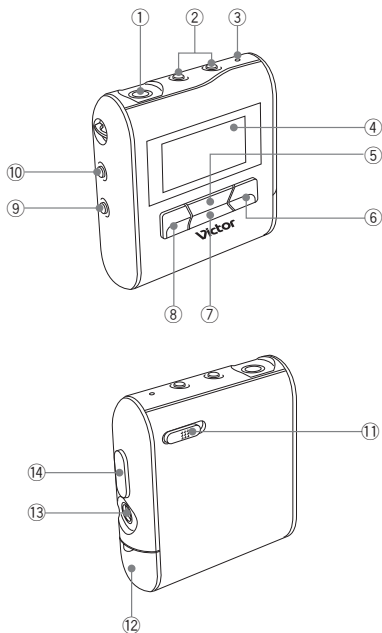
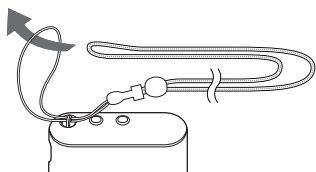
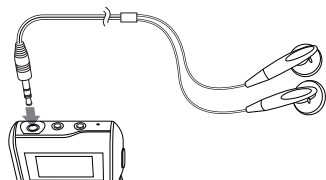
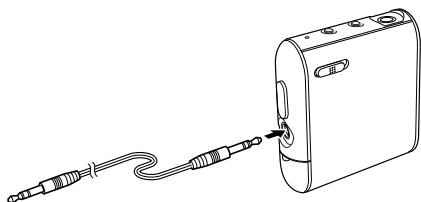
お知らせ

・表示言語には日本語、英語の ID3 タグ (バージョン 1.0/1.1、バージョン 2.3)、WMA タグをサポートしています。ID3 タグ、WMA タグとは MP3、WMA ファイルに記録される、曲名・アーティスト名などのデータのことです。
・本機をパソコンに接続すると、USB 外部メモリ（リムーバブルディスク）として本機が新しく表示され、USB 外部メモリとして扱うことができます。

*SAVE YOUR MUSIC
本製品で記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

* 何らかの不具合により、正常に録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

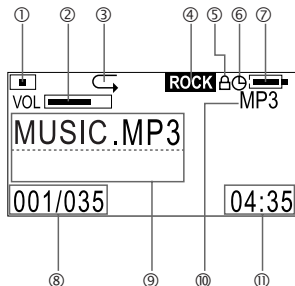
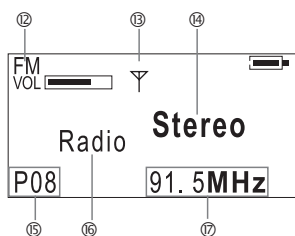
* 大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをおすすめいたします。

各部の名称

① ヘッドフォンジャック
② VOL+/−（ボリューム）ボタン
③ MIC
④ ディスプレイ
⑤ ►/❚❚（再生/一時停止）ボタン
⑥ ►►❙（早送り）ボタン
⑦ ■（停止）ボタン
⑧ ❙◄◄（早戻し）ボタン
⑨ REC ボタン
⑩ MENU ボタン
⑪ HOLD スイッチ
⑫ 電池カバー
⑬ LINE IN 端子
⑭ USB 端子

ネックストラップを使って持ち運びを容易にできます。

ヘッドフォンを本機のヘッドフォンジャック 🎧 に差し込みます。

オーディオケーブルを本機の LINE IN 端子と外部機器間に接続します。外部機器からの録音が可能になります。

ディスプレイ

ミュージックモード／ボイスモード

FM モード

① 再生インジケーター
② ボリュームレベル
③ 再生モードインジケーター
④ EQ（サウンドモード）
⑤ ロックアイコン
⑥ スリープタイマーアイコン
⑦ バッテリーインジケーター
⑧ 曲番号 / 合計曲数
⑨ ファイル名＊
⑩ モードインジケーター
⑪ 曲再生時間
⑫ FM モード表示
⑬ アンテナアイコン
⑭ ステレオ / モノラルインジケーター
⑮ プリセット番号
⑯ FM モードの現在の状態
⑰ 周波数

＊上下の欄の表示内容が共に長い時は、スクロールをする際に表示にズレが生じます。

基本操作

電源をオン / オフする

電源をオンにするには

「welcome」が現れるまで ▶/II ボタンを押し続けます。
しばらくすると以下が表示されます。

DIGITAL
AUDIO
PLAYER

電源をオフにするには

■（停止）ボタンを押し続けます。

SEE YOU

お知らせ

- 本機をオンにすると、最後にオフにしたときのモードで再開します。
- 本機で行った各種設定やプリセットされた FM 放送局は電源オフ操作時に記録されます（電池を抜くことで電源をオフすると記録されません）。設定値を変更したり FM 放送局をプリセットした時は一度電源をオフし、設定内容を記録することを推奨します。

メインメニューを使用する

メインメニューから各操作モードを選択します。

ミュージック

モードタイプ

ミュージックモード
曲を再生します。(15 ページ)

ボイスモード
メッセージを録音／再生します。(16、17 ページ)

FM モード
FM を聞き、録音します。(18 ～ 21 ページ)

外部録音モード
外部機器から曲(MP3 形式)を録音します。(22 ページ)

設定モード
本機の各種設定を行います。(23 ～ 34 ページ)

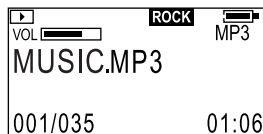
ファイル削除モード
ファイルを削除します。(35 ページ)

バージョン情報モード
本機のバージョン情報などを表示します。(36 ページ)

設定初期化モード
ユーザーが行った設定を初期化します。(37 ページ)

ナビゲートモード
ミュージックフォルダとファイルの階層的なツリー構造を表示します。目的の曲を探して再生することができます。(38ページ)

ミュージックを再生する

ミュージックファイルを再生して聞くことができます。
音楽を聴く前に、ボリューム +/ −ボタンでボリュームを調整してください。

ミュージックファイルを再生するには

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押しミュージックモードを選択し▶/II ボタンを押して決定します。**

2. **▶/II ボタンを押します。**

停止するには：■ ボタンを押します。
一時停止するには：▶/II ボタンを押します。
曲を選択するには:再生中または停止時に、▶▶I / I◀◀ボタンを押します。
早送り / 早戻しするには：再生中に ▶▶I / I◀◀ ボタンを押し続けます。
ミュージックモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

・ミュージックファイルが保存されていない場合は、「ファイルがありません」と表示されます。
・停止中、または再生中に電源をオフにしたときは、後で再度電源をオンにして再生する際に、再生していた曲の最初から再生が始まります。
・約 10 秒間本機を操作しない場合、メニューモードはメニューを表示する前の表示に戻ります。

ボイスメッセージを録音する

内蔵 MIC を使って音声を録音します。音声はボイスファイルとして保存されます。

ボイスメッセージを録音するには

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押しボイスモードを選択し ▶/II ボタンを押して決定します。**

2. **Recording が表示されるまで REC ボタンを押し続けます。**

一時停止するには：▶/II ボタンを押します。
停止するには：■ ボタンを押します

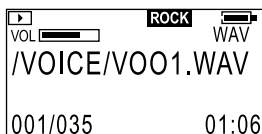
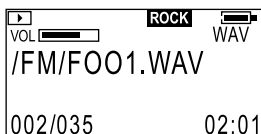
録音したメッセージを再生するには：「メッセージを再生する」（17 ページ）を参照してください。

ボイスモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

・録音したボイストラックはモノラルの WAV ファイルに変換されます。（「ボイス」フォルダが自動的に生成され、ボイスファイルはその中に保存されます。）
・REC ボタンを押し続けた時に「バッテリーがありません」が表示された場合は、新しい電池に交換してください。
・録音ファイルは、再生時に FM ファイルとボイスファイルに分類処理されます。
・録音中にボリュームの操作は出来ません。
・録音したファイルは USB 接続したパソコン側にコピーが可能です。
・マイク感度が高いため、大きな音ではひずむことがあります。直接本機に向けて声を録音する場合は、声を小さめにするか少し離して録音して下さい。

メッセージを再生する

録音したメッセージ（ボイスファイルまたは録音した FM 放送）を再生します。

（ボイスメッセージの場合）

（FM 放送の場合）

メッセージを再生するには

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押しボイスモードを選択し ►/II ボタンを押して決定します。**

2. **►/II ボタンを押します。**

停止するには：■ ボタンを押します。

一時停止するには：►/II ボタンを押します。

メッセージを選択するには：►►I / I◄◄ ボタンを押します。

早送り / 早戻しするには：►►I / I◄◄ ボタンを押し続けます。

ボイスモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

・ボイスファイルがなにも保存されていない場合は、「ファイルがありません」と表示されます。

・停止中、または再生中に電源をオフにしたときは、後で再度電源をオンにして再生する際に、再生していた曲の最初から再生が始まります。

FM 放送を聞く

本機では FM 放送をプリセット（登録）した後にこの中から選択して FM 放送を聞きます。操作には以下の 2 つのモードがあります。
スキャンモード：放送局を選局するモードで、A.Scan、M.Scan、S.Scan があり、選局後プリセットを行います。
ラジオモード：プリセット（登録）した放送局を選択するモードです。(Radio と表示されます)

自動的に選局しプリセットするには

A.Scan（自動スキャン）機能により、自動的に検出した放送局（最大 20）をプリセット番号 P01 〜 P20 に登録することができます。

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押し FM モードを選択し ►/II ボタンを押して決定します。**
2. **■ ボタンを押してスキャンモードに入ります。(「Scan」が表示されます。)**
3. **►/II ボタンを押し続けてから、離します。**
   「A.Scan」が表示され、自動スキャンが始まります。終了するとラジオモードになります。

スキャンモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

ラジオモードとスキャンモードを切り替えるには：

「Radio」または「Scan」表示中に ■ ボタンを押します。

放送局を聞き、その後プリセットするには
(スキャンモード:M.Scan, S.Scan)

聞きたい放送局を M.Scan(手動スキャン) または S.Scan(サーチスキャン) 機能で選びます。選局後、目的のプリセット番号に記憶させることができます。

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから▶▶| / |◀◀ボタンを押し FM モードを選択し ▶/II ボタンを押して決定します。(「Radio」が表示されます。)**

2. **■ ボタンを押してスキャンモードに入ります。(「Scan」が表示されます。)**

3. **手動でスキャンする: ▶▶| / |◀◀ ボタンを押します。**

(初めて押したときに「M.Scan」が表示され、以降押すたびに周波数がステップ状に変化します。)

サーチスキャンする: ▶▶| / |◀◀ ボタンを押し続けます。

(「S.Scan」が表示され、自動的に選局されます。)

・手動スキャンとサーチスキャンの両方の機能を一度に使用することはできません。

4. **M.Scan 動作後は ▶/II ボタンを押します。(「Store」が表示されます。)**
S.Scan 動作後は■ボタンを押します(「Store」が表示されます。)
Store をキャンセルするには ■ ボタンを押します。

5. **▶▶| / |◀◀ ボタンを押して登録したいプリセット番号を選択します。**

6. **▶/II ボタンを押して登録します。**

「Radio」が表示され、ラジオモードに戻ります。

7. **手順 2 ~ 6 を繰り返して他局を登録します。**

お知らせ

・設定した内容は電源を切る(■ボタンを押し続ける)ことで記憶されます。電源が入った状態でバッテリーを抜くと設定内容は記憶されません。

プリセットした放送局を聞くには（ラジオモード）

プリセットした放送局を聞くことができます（最大 20）。あらかじめスキャンモードで放送局を設定しておく必要があります。

1. 電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押し FM モードを選択し ►/II ボタンを押して決定します。
「Radio」とプリセット番号が表示されます。

2. ►►I / I◄◄ ボタンを押して目的のプリセット番号(P01 ～ P20)を選択します。
ステレオの時に ►/II を押すとモノラルに切り換える事が出来ます。

プリセットしたラジオ局を削除するには（ラジオモード）

ラジオモードで、目的のプリセット番号を選択し、►/II ボタンを「Delete」が表示されるまで押し続けます。
周波数表示はそのままでプリセット番号が消え、初期（購入時）の局にリセットされます。
（プリセット No と初期（購入時）の局はスキップ操作をした後に正しく表示されます。）

ラジオモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

FM 放送を録音する

FM 放送を録音するには

1. 電源を入れ「FM 放送を聞く」（18 ページ）を参照し、録音する FM 放送局を選択します。
2. Recording が表示されるまで REC ボタンを押し続けます。

   一時停止するには：▶/❚❚ ボタンを押します。
   停止するには：■ ボタンを押します。

録音した FM 放送を再生するには：
「メッセージを再生する」（17 ページ）を参照してください。

FM モードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

- FM放送で録音した音楽は、ステレオ WAV ファイルに変換されます。（「FM」フォルダが自動的に生成され、ファイルはその中に保存されます。）
- REC ボタンを押し続けた時に「バッテリーがありません」が表示された場合は、新しい電池に交換してください。
- 録音したファイルは USB 接続したパソコン側にコピーが可能です。

外部機器からの曲を LINE-IN にて録音する

外部機器で再生した音楽を録音できます。
本機の LINE IN 端子と外部機器がオーディオケーブルで接続されていることを確認してください。

録音 :REC キャンセル :MENU

外部機器からの曲を録音するには

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押し外部録音モードを選択し ▶/II ボタンを押して決定します。**
2. **REC ボタンを「Recording」と表示されるまで押し続けます。**
   録音待機状態（カウンターが停止状態）になります。
3. **外部機器側でミュージックソースを再生します。**
   音を自動検出して録音が始まり各曲ごとにトラック番号を振っていきます。
   初期の録音設定はビットレート 128kbps、A.TRK オンです。詳細は 31 ページ～ 32 ページをご参照ください。

停止するには：■ ボタンを押します。

外部録音モードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

- 「LINE」フォルダが自動的に生成され、録音した曲はその中に MP3 形式で保存されます。「LINE」フォルダは、ナビゲート機能により表示することができます。(38 ページ)
- **REC** ボタンを押し続けた時に「バッテリーがありません」が表示された場合は、新しい電池に交換してください。
- 本機には録音レベルを調節する機能がついておりません。外部機器の出力レベルが大きいとノイズやひずみが録音されることがあります。外部機器のヘッドフォン端子に接続している場合は、外部機器の音量を調節して録音して下さい。大切な録音の前には試し録りをし適正な録音レベルになっていることをご確認下さい。
- 録音したファイルは USB 接続したパソコン側にコピーが可能です。

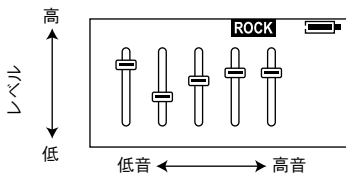
設定モードのメニュー項目について

設定モードでは、以下の設定メニュー項目を選択できます。
「EQ 設定」、「再生モード」、「スリープタイマー」、「オートパワーオフ」、「バックライト」、「コントラスト」、「録音設定」、「メニュー言語」、「フォント」
各設定メニューについては、以降のそれぞれのページを参照してください。

お知らせ

・設定した内容は電源を切る（■ボタンを押し続ける）ことで記憶されます。電源が入った状態でバッテリーを抜くと設定内容は記憶されません。

EQ(イコライザー)設定

プリセットされたサウンドモード(6種類)、またはカスタムサウンドモードの中から選択できます。

サウンドモードの種類

NORM **ノーマル**
サウンドモードのは効果はありません。

CLASS **クラシック**
クラシックミュージック向きです。

JAZZ **ジャズ**
ジャズミュージック向きです。

ROCK **ロック**
低音、高音が強調されます。

POP **ポップ**
ボーカルミュージック向きです。

BASS **バス**
バス音が強化されます。

CUST **カスタマイズ**
ユーザー専用のサウンドモードを作成できます。

お好みのサウンドモードを選択するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►| / |◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。

2. ►►| / |◄◄ ボタンを押して「EQ 設定」を選択します。

3. ►/II ボタンを押します。

4. ►►| / |◄◄ ボタンを押してサウンドモードを選択します。

5. ►/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

サウンドモードを作成するには (カスタマイズ)

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►| / |◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。

2. ►►| / |◄◄ ボタンを押して「EQ 設定」を選択します。

3. ►/II ボタンを押します。

4. ►►| / |◄◄ ボタンを押して「CUST」を選択します。

5. MENU ボタンを押します。
一番低い周波数のインジケータが強調表示されます。

6. ►►| / |◄◄ ボタンを押して編集する周波数を選択します。

7. ►/II ボタンを押します。
インジケータが点滅を開始します。

8. ►►| / |◄◄ ボタンを押してレベルを設定し、►/II ボタンを押して設定値を記録します。

9. 設定が完了するまで、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

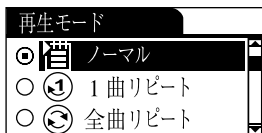
10. MENU ボタンを押すと強調表示が消え、設定が完了します。

11. ►/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します (または、「戻る」を選択し、►/II ボタンを押します)。

再生モード

曲をいろいろな方法で演奏できます。ボイスファイルの場合は、「ノーマル」、「1 曲リピート」、「全曲リピート」だけが使用できます。

再生モードの種類

ノーマル
通常の再生です。

1 曲リピート
一曲を繰り返し演奏します。

全曲リピート
全曲を繰り返し演奏します。

ランダム
全曲をランダムに演奏します。

ランダムリピート
全曲を繰り返してランダムに演奏します。

イントロ再生
各曲の出だしを 10 秒間だけ演奏します。

再生モードを選択するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押し設定モードを選択し、▶/II ボタンを押して決定します。
2. ▶▶I / I◀◀ ボタンを押して「再生モード」を選択します。
3. ▶/II ボタンを押します。
4. ▶▶I / I◀◀ ボタンを押して目的の再生モードを選択します。
5. ▶/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します (または、「戻る」を選択し、▶/II ボタンを押します)。

スリープタイマー ⌚

スリープタイマー機能により、再生中に一定時間経過後、本機をオフにできます。設定時間は 15、30、45、60 分または OFF（初期設定）です。スリープタイマー設定は1回動作するとキャンセルされます。スリープタイマーが設定されていると、ディスプレイ右上にアイコン（⌚）が現れます。

スリープタイマーを設定するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。
2. ►►I / I◄◄ ボタンを押して「スリープタイマー」を選択します。
3. ►/II ボタンを押します。
4. ►►I / I◄◄ ボタンを押して時間を選択します。
5. ►/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、►/II ボタンを押します）。

オートパワーオフ ⌚

オートパワーオフ機能により、一定時間本機を使用しない場合に本機を自動的にオフにできます。時間は 2、5、10 分、または OFF（初期設定）です。

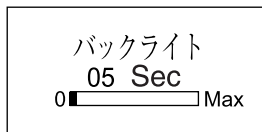
オートパワーオフを設定するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。
2. ►►I / I◄◄ ボタンを押して「オートパワーオフ」を選択します。
3. ►/II ボタンを押します。
4. ►►I / I◄◄ ボタンを押して時間を選択します。
5. ►/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、►/II ボタンを押します）。

バックライト

最後に操作を終了してからバックライトが消えるまでの時間（0 ～ Max）を設定します。（初期設定：5 秒 ）
「Max」に設定した場合は、バックライトは約 2 時間後に消えます。

バックライトを設定するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押し設定モードを選択し、▶/II ボタンを押して決定します。
2. ▶▶I / I◀◀ ボタンを押して「バックライト」を選択します。
3. ▶/II ボタンを押します。
4. ▶▶I / I◀◀ ボタンを押して時間を選択します。
5. ▶/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、▶/II ボタンを押します)。

お知らせ

・「バッテリーがありません」と表示されると、これ以降はバックライトの点灯時間が設定されていても、バックライトは点灯しません。

コントラスト

ディスプレイのコントラストを調節します。

コントラストを設定するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►ı / ı◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/ıı ボタンを押して決定します。
2. ►►ı / ı◄◄ ボタンを押して「コントラスト」を選択します。
3. ►/ıı ボタンを押します。
4. ►►ı / ı◄◄ ボタンを押してレベルを選択します。
5. ►/ıı ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、►/ıı ボタンを押します）。

録音設定

外部機器入力（LINE）録音について、録音時のビットレートや A.TRK を設定します。

ソース	LINE	VOICE	FM
エンコーダ	(MP3 Stereo)	(ADPCM)	(ADPCM)
ビットレート	96kbps, 128kbps, 160kbps	(−)	(−)
A. TRK	ON, OFF	(OFF)	(OFF)

```
Source  : VOICE
Encode  : ADPCM
BitRate : −
A.TRK   : OFF
```

録音設定をするには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押し設定モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。

2. ►►I / I◄◄ ボタンを押して「録音設定」を選択します。

3. ►/II ボタンを押します。

4. ►►I / I◄◄ ボタンを押して録音ソース「Source」を選択します。

5. ►/IIボタンを押して目的のソース(VOICE、FMまたはLINE)を選択します。

6. ►►I / I◄◄ボタンを押してそのソースに関する他の項目を選択します。

7. ►/II ボタンを押してその項目から目的の内容を選択します。

8. 手順 4 ～ 7 を必要に応じて繰り返します。

9. MENU ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します (または、「戻る」を選択し、►/II ボタンを押します)。

ビットレート：

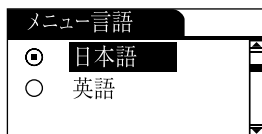
圧縮されたデータが 1 秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかを表すものです。値が大きい方が高音質になりますがデータ量として大きくなります。

A.TRK（オートトラック）機能：

外部機器入力からの曲を録音する場合に ON/OFF を切り替えることができます。ON にすると、曲を自動的に検出し、各曲ごとにトラック番号を振っていきます。曲が始まると録音を開始し、曲が終わると無音を感知して一時停止します。OFF にした場合は、曲の検出はせず、無音状態でも録音は停止しません。

ライン入力の録音では、無音部分が 3 秒以上続くと曲の変わり目として区切られるため、曲間が短かったり曲間に雑音が多いと区切られないことがあります。また、音の小さい部分や無音部分があると、曲中でも区切られてしまうことがあります。
これらの場合には、設定メニューの「録音設定」で、Source が LINE の時に A.TRK を OFF にして、マニュアルで一曲ずつ録音して下さい。

メニュー言語

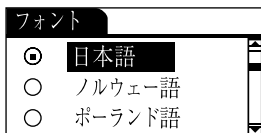
メニュー言語を設定します。日本語（初期設定）または英語を選択できます。

メニュー言語を設定するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押し設定モードを選択し、▶/II ボタンを押して決定します。
2. ▶▶I / I◀◀ を押して「メニュー言語」を選択します。
3. ▶/II ボタンを押します。
4. ▶▶I / I◀◀ ボタンを押して言語を選択します。
5. ▶/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、▶/II ボタンを押します）。

フォント ⓘⒹ③

ファイル名と ID3 タグの言語設定に使用します。27 言語から選択できます。（初期設定：日本語）

フォントを設定するには

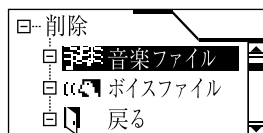
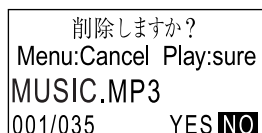
1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶| / |◀◀ボタンを押し設定モードを選択し、▶/II ボタンを押して決定します。
2. ▶▶| / |◀◀ ボタンを押して「フォント」を選択します。
3. ▶/II ボタンを押します。
4. ▶▶| / |◀◀ ボタンを押してフォントを選択します。
5. ▶/II ボタンを押して設定メニューに戻ります。

設定モードを終了するには：

設定メニューで、MENU ボタンを押します（または、「戻る」を選択し、▶/II ボタンを押します）。

お知らせ

・ID3 タグについては P9 をご参照下さい。

ファイルを削除する

(ファイル削除メニュー)　(ファイルの削除)

ファイルを削除するには

1. **電源を入れMENUボタンを押し、メインメニューから►►I / I◄◄ボタンを押しファイル削除モードを選択し►/II ボタンを押して決定します。**
2. **►►I / I◄◄ ボタンを押して、削除メニューから削除するファイルの種類を選択します。**
3. **►/II ボタンを押します。**
4. **►►I / I◄◄ ボタンを押して削除するファイルを選択します。**
5. **■ ボタンを押して「YES」を選択します。**
   削除操作をキャンセルする場合は、「NO」を選択します。
   (■ ボタンを押すごとに YES/NO が切り替わります)
6. **►/II ボタンを押して削除を実行します。**
   「削除しました」が表示されます。削除できないリードオンリーファイルの場合は、「オペレーション失敗」が表示されます。
   この場合、USB 接続した PC 側から削除が可能です。

ファイル削除メニューに戻るには:MENU ボタンを 1 回押します。

ファイル削除モードを終了するには:

MENU ボタンをもう一度押します (または、削除メニューで「戻る」を選択し、►/II ボタンを押します)。

お知らせ

・フォルダ内の全てのファイルを削除するとそのフォルダは現れなくなりますが、本機内に記憶されたままとなります。USB 接続した PC 側から削除できます。

バージョン情報を表示する

本機のファームウェアバージョンとステータスを表示します。

バージョン情報
VER:　X.XXXX
INT:　1 GB
FREE:　52 MB

表示するには：

電源を入れ **MENU** ボタンを押して、メインメニューから ►►I / I◄◄ ボタンを押し**バージョン情報**モードを選択し、►/II ボタンを押して決定します。

バージョン情報モードを終了するには：

MENU ボタンを押します。

お知らせ

- 「INT」は、本体のメモリ総容量を示します。
- 「FREE」は、オーディオファイル保存に使用可能なメモリ残容量を示します。

ファームウエアのバージョンアップ
本機ファームウエアのバージョンアップについては弊社のホームページを閲覧ください。

ユニットの設定を初期化する (1⇒0)

ユーザーが設定した、全ての設定及びプリセットを初期化します。

初期化しますか？
キャンセル :MENU
初期化　 :PLAY

ユニットの設定を初期化するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶| / |◀◀ボタンを押し**設定初期化**モードを選択し、▶/IIボタンを押して決定します。
2. ▶/II ボタンを押して設定初期化を実行します。
   全ての設定が初期化され、「設定を初期化しました」が表示されます。

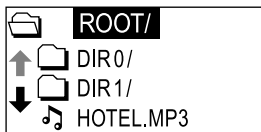
設定初期化モードをキャンセルし終了するには：

MENU ボタンを押します。

初期化によって以下の内容が初期設定値になります。
（音楽データは消えません）

EQ 設定	ノーマル
再生モード	ノーマル
スリープタイマー	OFF
オートパワーオフ	OFF
バックライト	5 Sec
コントラスト	工場出荷レベル
録音設定	LINE/128kbps/A.TRK : ON
メニュー言語	日本語
フォント	日本語

ナビゲート機能を使用する

ミュージックフォルダとファイル（♫）の階層ツリー構造を表示します。このツリー構造から、簡単に目的のミュージックファイルを検索し、再生できます。

ミュージックファイルを検索するには

1. 電源を入れMENUボタンを押して、メインメニューから▶▶I / I◀◀ボタンを押しナビゲートモードを選択し、▶/IIボタンを押して決定します。

2. ▶▶I / I◀◀、▶/II / ■ ボタンを押して目的のミュージックファイルを検索します。

▶▶I / I◀◀ ：カーソル（ハイライト表示）を縦方向に移動します。選択したフォルダ内の各ファイル、または各フォルダ間をスクロールします。

▶/II / ■ ：① 目的のフォルダにカーソルを移動して ▶/II ボタンを押すとフォルダ内が表示され、フォルダ内のファイルが選択可能となります。
② カーソルがフォルダ内にあるときに ■ ボタンを押すとこのフォルダが閉じてフォルダーがある階層が表示されます。

3. ▶/II ボタンを押して再生します。

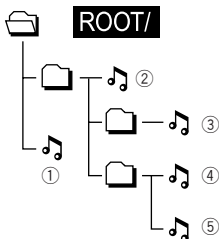
（一時停止するには▶/IIボタンを、停止するには■ボタンを押します。）

ナビゲートモードを終了するには：MENU ボタンを押します。

お知らせ

・WMA-DRM ファイルはドラッグアンドドロップで転送すると表示はされますが再生することはできません。

ミュージックモードでの再生順序について：

階層ツリー構造から、ミュージックモードで通常の再生を行ったときに再生される順序が視覚的に理解できます。ミュージックファイルは、上位階層から下位階層に向かう順序で再生されます

お知らせ

- フォルダ数は 50 まで認識できます。
- フォルダ階層は最上位フォルダを1とすると8階層まで認識できます。
- 保存されている音楽ファイルの再生順序は、フォルダ名、ファイル名に PC 上から半角数字を付けることにより変更することができます。(01xxxx、02xxxx、・・・というようにフォルダ名、ファイル名の先頭に半角数字を追加します)
- 本機で取り扱うことが可能なファイル(表示や操作が可能な WMA、MP3、WAV ファイル) は計 550 ファイルです。これを超えるファイル数については動作保証できません。

ボタンをロックする（HOLD）

HOLD スイッチを右にスライドすると、すべての操作ボタンがロックされます。ロックされた状態では、ディスプレイ右上に アイコンが表示されます。

ロックを解除するには：HOLD スイッチを左にスライドします。

お知らせ

・ロック状態で本機の電源をオンにすると、初期メッセージ「DIGITAL AUDIO PLAYER」に続いて「HOLD」が表示され、電源が自動的に切れます。HOLD スイッチを左にスライドしてロックを解除してから、お使いください。

故障かなと思ったら

おや？故障かなと思ったら…
修理を依頼される前に、もう一度お確かめください。

こんなときは	次の点を確認してください
動作しない	・HOLD スイッチは OFF になっていますか。 ・本機はマイクロコンピュータを使って制御されています。何らかの理由によりボタンを押しても正しく動作しない場合は、電池を取り出し、しばらくたってから再度挿入してください。 ・電池が消耗している場合があります。電池を交換してください。
音が出ない（雑音が多い）	・ヘッドホンが本機に確実に差し込まれていますか。 ・ヘッドホンのプラグが汚れていませんか。 ・携帯電話やテレビなどの装置から離れた場所でお使いください。 ・音量を上げてください。
突然動作しなくなる	・電池を取り出し、10 秒ほどしてから再度挿入してください。
ディスプレイが暗すぎる/明るすぎる	・コントラストを調整してください。
自動的に電源が切れる	・オートパワーオフ機能が設定されています。(28 ページ)(故障ではありません。)
パソコンが本機を認識しない	・Windows 98SE をオペレーティングシステムに使用している場合は、必ず付属の CD-ROM から USB ドライバをパソコンにインストールしてください。

主な仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

モデル名	XA-MP101	XA-MP51
形式	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリサイズ	1 GB	512 MB
ディスプレイ	バックライト付き LCD（4 ラインディスプレイ）	
ダイレクト録音	MP3 方式	
FM ラジオ	FM 受信周波数：76.0 MHz ～ 108.0 MHz(ワイドバンド) FM 録音：ADPCM 方式	
ボイス録音	ADPCM 方式、内蔵モノラルマイク	
音楽再生フォーマット	MP3/WMA/WMA-DRM *1	
ビットレート	MP3：8 kbps ～ 320 kbps、WMA：32 kbps ～ 192 kbps	
最大収録曲数 *2	約 500 曲	約 250 曲
周波数特性	60 Hz ～ 20 kHz、+0 dB ～ -3 dB（オーディオ） ステレオ /2 チャンネル(オーディオ再生、外部録音、FM ラジオ再生 / 録音)	
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック× 1)	
入力端子	LINE IN（ステレオミニジャック× 1）	
実用最大出力	ヘッドホン 7 mW + 7 mW（32 ohms）	
電源	単 4 形アルカリ乾電池× 1	
連続再生時間	約 17 時間(オーディオ再生)*3	
本体寸法	約幅 50 mm ×高さ 50 mm ×奥行 15 mm(突起部含まず)	
質量	約 30 g（本体のみ）、約 42 g（乾電池含む）	

*1 デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限のかけられた WMA ファイル
*2 WMA：64 kbps、1 曲 4 分として
*3 条件：MP3（128 kbs、fs=44.1 kHz）ファイル再生、バックライト：OFF、EQ(イコライザー)：ノーマル

■ 対応 OS：Microsoft® Windows® XP（Home Edition/Professional)、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® 98SE*
(* 付属の CD-ROM による USB ドライバのインストールが必要)

付属品

ヘッドフォン
USB ケーブル
オーディオケーブル
CD-ROM（Windows 98SE 用 USB ドライバ）
ネックストラップ
アルカリ電池

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/audio/index.html

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保証書	補修用性能部品の最低保有期間
所定事項記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。 保障期間はお買い上げの日より１年間です。	製造打ち切り後６年です。 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
③ お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
別紙の「ビクターサービス窓口案内」 をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、４４ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
ＡＶ＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、及びその後の点検サービス活動にために記載内容を利用させていただく場合が有りますので、ご了承ください。
本書は、本書記載内容で、無料修理又は本体部の交換を行なうことをお約束するものです。
保証対象はハードウエアのみでソフトウエアは含みません。
本製品使用時に利用されるパソコン、ハードウエア、その他関連システムなどに起因する互換性の問題は保証の範囲に入りません。
この製品を使用したため、又は使用できなかったためにいかなる損害が発生しても保証の範囲に入りません。
何らかの理由により、修理又は該当製品と同等の製品に交換できない場合、お客様のご希望を確認の上、その後継機種との交換を持ってこれに換える場合が有ります。

1. 保証期間中、取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際弊社の判断で再生部品を用いる場合が有ります。
   商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。

2. 保障期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は別紙「ビクターｻｰﾋﾞｽ窓口案内」をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

3. 次のような場合は保障期間内でも有料修理にさせていただきます。

（1）本書のご提示がない場合。
（2）本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
（3）ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（4）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
（5）火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や以上電圧、指定以外の使用電源（電圧・周波数）による故障及び損傷。
（6）不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
（7）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用及び車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
（8）消耗品（電池など）の消耗。
（9）持込み修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせて戴きます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせて戴きます。
（10）不注意、許可なしに行なった修正 / 改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品又はインストールしたソフトウエア、ファームウエアーが原因となって損傷が発生した場合。

4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター㈱及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   保障期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warrantyis valid only in japan.

保証書

持込修理

<table>
<tr><td>型名</td><td>XA-MP51-S/-B/-R/-W
XA-MP101-A/-S</td><td colspan="2">製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>お名前</td><td colspan="2">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="2">□□□-□□□□　電話（　　）　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ年月日
年　月　日</td><td>保証期間</td><td>お買い上げ日から
本体　1年間</td></tr>
<tr><td colspan="4">お買い上げ店　住所・店名・電話</td></tr>
</table>

お客様へのお願い。

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
3. ご転移の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
5. 保証期間経過後の修理､補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

0705KMMCREBET